

# 令和3年度中津市観光アンケート調査報告書

令和4年3月

観光推進課

# 目次

1	調査概要	P 3
2	本調査総括	P 5
3	本調査の結果分析	
	○属性分析	P 7
	○問 1 分析	P 9
	○問 2 分析	P 1 0
	○問 3 分析	P 1 2
	○問 4 分析	P 1 3
	○問 5 分析	P 1 5
	○問 6 分析	P 1 6
	○問 7 分析	P 1 8
	○問 8 分析	P 1 8
	○問 9 分析	P 1 9
	○問 1 0 分析	P 2 0
	○問 1 1 分析	P 2 1
	○問 1 2 分析	P 2 1
	◆大分県内観光客の分析	P 2 2

## ※注意

割合は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

## 1 調査概要

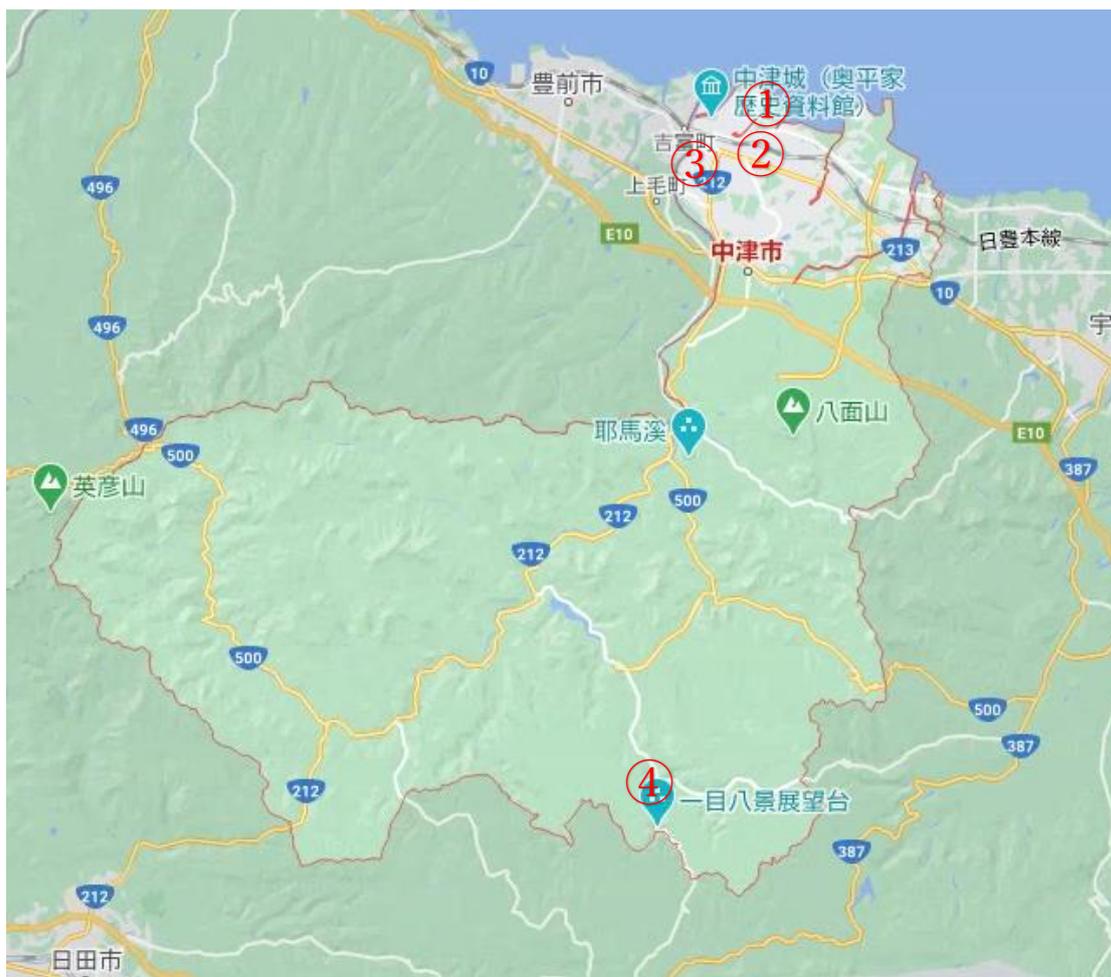
### ○調査の目的

本調査は、中津市へ来訪する観光の動態を把握するために平成 30 年度（2018 年度）より開始しました。従来の観光動態調査（中津市観光入込客数調査、市内宿泊者数調査）の方法では捉えられなかった観光客の属性や観光の実態等を把握し分析することで、より効果的な観光事業を実施していきます。また、調査結果を地域へフィードバックし、地域一体となった観光まちづくりを目的としています。

### ○調査方法（聞き取り調査）

- ① 福澤諭吉旧居・福澤記念館
- ② 中津駅
- ③ 元祖中津からあげ もり山 万田・本店
- ④ 深耶馬溪観光案内所

前年度は、黒田官兵衛資料館で調査を行っていたが、スポットが①福澤諭吉旧居・福澤記念館と類似しているため、中津駅・からあげ店に変更した。



○調査対象期間

令和3年7月22日（シルバーウィーク） 13時～16時 3時間

令和3年10月10日 13時～16時 3時間

令和3年11月20日（9時30分～12時30分）、11月21日 13時～16時 3時間

計 3日間 （※11月は2日間にかけて実施しました。）

令和3年7月22日は新型コロナウイルス第5波拡大時期（全国：初期、大分県：拡大前）

令和3年10月10日は新型コロナウイルス第5波収束時期

令和3年11月20日、21日は新型コロナウイルス第5波収束時期

○収集サンプル数

日付	①福澤諭吉旧居・記念館	②中津駅	③元祖中津からあげ もり山 万田・本店	④深耶馬溪観光案内所	計
7月22日	23	16	—	31	70
10月10日	17	—	27	44	88
11月20日	—	—	—	81	81
11月21日	22	—	42	—	64
合計	62	16	69	156	303

○質問事項

・調査日 ・居住地域 都道府県／市町村 ・性別／年齢

問1. 今回の中津（耶馬溪を含む）旅行は何回目になりますか。（4択中1つ選択）

問2. 今回の旅はどれに該当しますか。（8択中1つ選択）／来訪人数

問3. 今回の旅はいつ計画しましたか。（5択中1つ選択）

問4. 今回の旅の情報源を教えてください。（10択中複数選択可）

問5. 今回の旅の決定要因を教えてください。（6択中複数回答可）

問6. 今回の旅はどれに該当しますか。（3択中1つ選択。記入あり）

問7. 今回の旅全体の予算額を教えてください。（金額記入）

問8. 今回の旅の交通手段を教えてください。（11択中複数選択）

問9. 今回の旅では、中津の観光地でどこを訪れます（した）か。（20択中複数選択）

問10. 今回の旅で一番心に残ったグルメを教えてください。（自由記述）

問11. 再び、なかつに旅行に来たいと思いますか？（5択中1つ選択）

問12. 中津市内の観光で困ったことはありますか。（自由記述）

## 2 総括

- ・前年同様、新型コロナウイルスの影響によりマイクロツーリズム（※1）化が顕著で、九州・沖縄地方、特に福岡県・大分県からの来訪者が多かった。
- ・50歳以上の家族旅行（夫婦）の来訪が多く、一方で20歳代・30歳代の家族旅行（夫婦、夫婦＋子ども）の割合が低かった。
- ・情報源は、インターネット広告・SNSは年々増加傾向にある。
- ・SNSは若者世代の利用が多く、インターネットの情報については、すべての年代で幅広く利用されている。
- ・一方で、新聞や旅行雑誌の割合が減っている。
- ・積極的なインターネット・SNSを活用した広告が求められる。
- ・旅の予算額は、宿泊・日帰りを分けて見てみると、ともに増加している。
- ・日帰りの割合が7割を超え、市内宿泊は若干増えたものの、まだ低い。

（※1）マイクロツーリズム：自宅から約1時間の移動圏内で観光する近距離旅行。

### （居住地）

前年に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、マイクロツーリズム志向が高く、九州・沖縄地方からの来訪者が8割を超える結果となった。市町村別では、北九州市、福岡市、大分市が上位3位となっている。

### （年齢）

年齢層は60歳以上が最多く約3割を占め、40歳代・50歳代がそれぞれ約2割と40歳以上の割合が約7割という結果となった。

### （訪問回数）

訪問回数は4回以上のリピーターが約5割と最も多く、次いで初めてが約3割占めた。

### （旅形態）

家族旅行の割合が約6割と大部分を占め、次いで友人11.6%、カップル（未婚）11.2%と続いた。前年と比べ、カップル（未婚）、家族旅行（夫婦）の割合が増加した。

### （旅の準備期間）

前年に引き続き、旅行計画は6割以上の方が、1週間以内に計画している。出発地が遠方ほど準備期間も長くなる傾向にある。

### (旅の情報源)

旅の情報源は、経験36.5%、インターネットの情報26.7%、家族・知人11.3%、テレビ6.9%の順であった。インターネットの情報やSNSは年々増加傾向にあり、合計で8.4%増加した。一方で、新聞や旅行雑誌の割合は前年に比べ、減少傾向である。

### (旅の決定要因)

旅の決定要因は、自然等37.3%、グルメ27.2%、その他14.9%、歴史・文化13.6%となった。新型コロナウイルスの影響と調査時期が紅葉最盛期であったことが、自然等の割合が高くなった要因であると考えられる。

### (日帰り・宿泊)

日帰りの割合が7割を超え、次いで市外宿泊16.8%、市内宿泊は11.6%となった。前年より日帰りが10.6%、市内宿泊が3%増え、一方で市外宿泊12.7%減少した。

### (予算額)

全体(宿泊+日帰り)で14,399円となり、前年と比べ約1,200円程度減少した。宿泊と日帰りそれぞれの予算で見ると、前年と比べ増加傾向となった。

### (交通手段)

前年と比べ、自家用車の割合は13%増え、約7割となった。一方で、観光バスの割合が大幅に減少し、0.6%となった。

### (目的地)

2021年は一目八景(深耶馬溪)が55.1%と非常に高い結果となった。一目八景は、アンケート調査場所であり、本アンケートの半数を占めているため、今回の結果の大きな要因となっている。その他、からあげ店も同様の傾向が見られた。調査場所ではないが、耶馬トピアが約5%増加している。

### (グルメ)

心に残ったグルメは、中津からあげ、そば、鱧などの回答が多かった。無回答が前年に引き続き5割を超える結果となった。

### (中津への再来訪)

中津へ再び来たいと思う割合は、そう思う・まあ思うと回答した方が9割を超えた。

### 【今後の取組】

前年同様、宿泊につなげる取組を行い、旅の滞在時間の延長を図る必要がある。

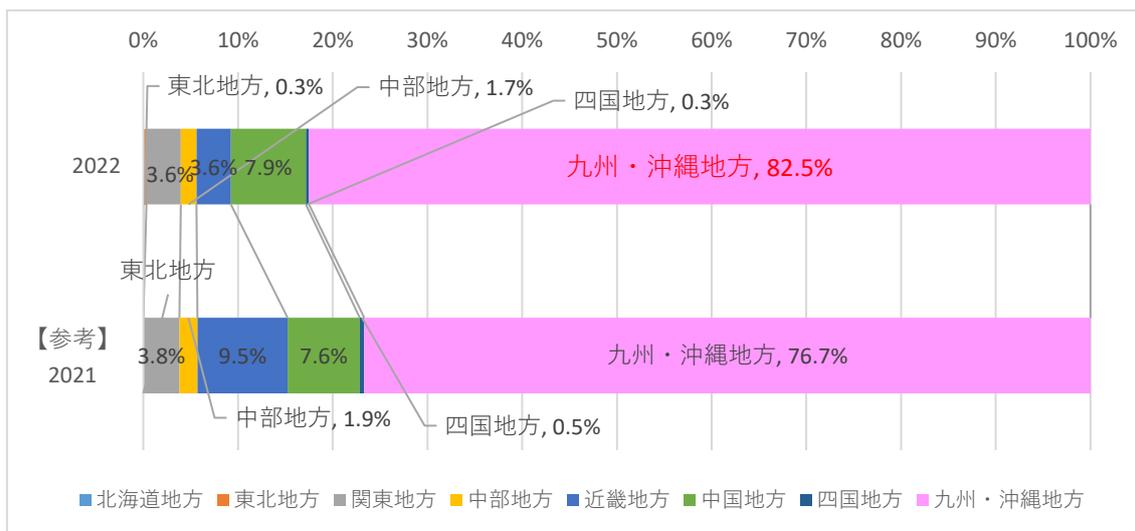
### 3 調査結果の分析

#### ■来訪者属性（居住地、性別、年齢）

○居住地域（記入方式）

居住地域	都道府県：	市町村：
------	-------	------

●地方区分別（8地方区分）：回答率：100%



●内訳（九州・沖縄）：回答率100%

県名	人数	割合	昨年割合 (参考)	増減
福岡県	161	64.4%	61.5%	2.9%
佐賀県	7	2.8%	0.6%	2.2%
長崎県	8	3.2%	3.7%	-0.5%
熊本県	4	1.6%	1.2%	0.4%
大分県	64	25.6%	30.4%	-4.8%
宮崎県	3	1.2%	0.6%	0.6%
鹿児島県	2	0.8%	1.2%	-0.4%
沖縄県	1	0.4%	0.6%	-0.2%
合計	250			

●自治体別上位：回答率96.7%

順位	都道府県名	市町村	人数
1	福岡県	北九州市	42
2	福岡県	福岡市	36
3	大分県	大分市	24
4	福岡県	行橋市	15
5	大分県	中津市	14
6	福岡県	久留米市	9
7	山口県	下関市	8

※一番割合が高い数値 赤色

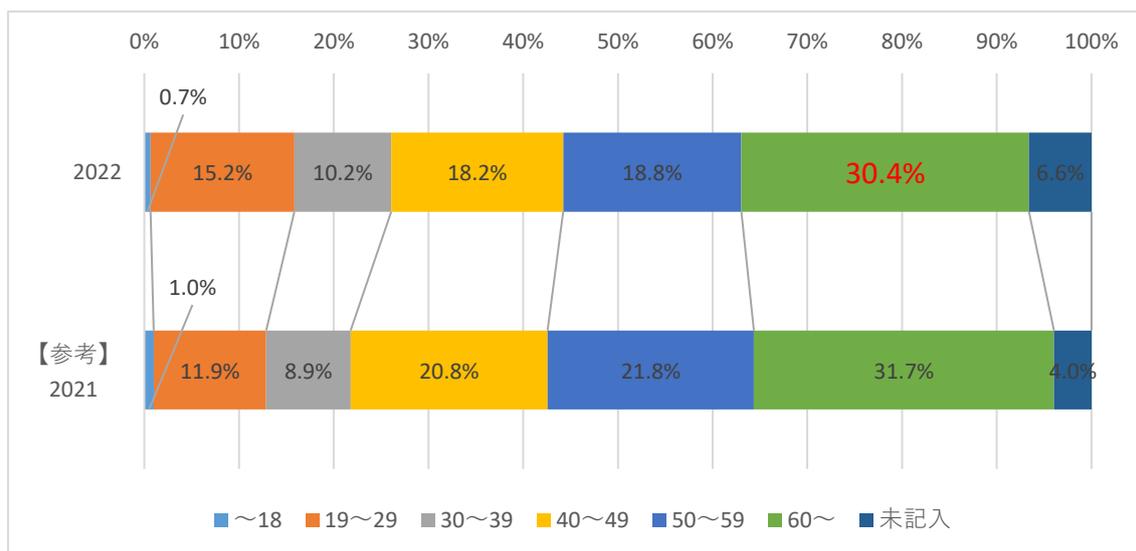
新型コロナウイルスの影響により、引き続きマイクロツーリズムの志向が高く、九州・沖縄地方からの来訪者が前年と比べると5.8%増え、8割を超えた。またその中でも、中津市と面した福岡県、佐賀県の来訪者が約2~3%増加した。一方で大分県内からの来訪者は、約5%減少した。市町村別でみると、北九州市、福岡市、大分市の順となった。

## ○ 性別・年齢

選択式

性別：□ 男性 □ 女性 □ 回答しない

● 年齢別：回答率 93.4%



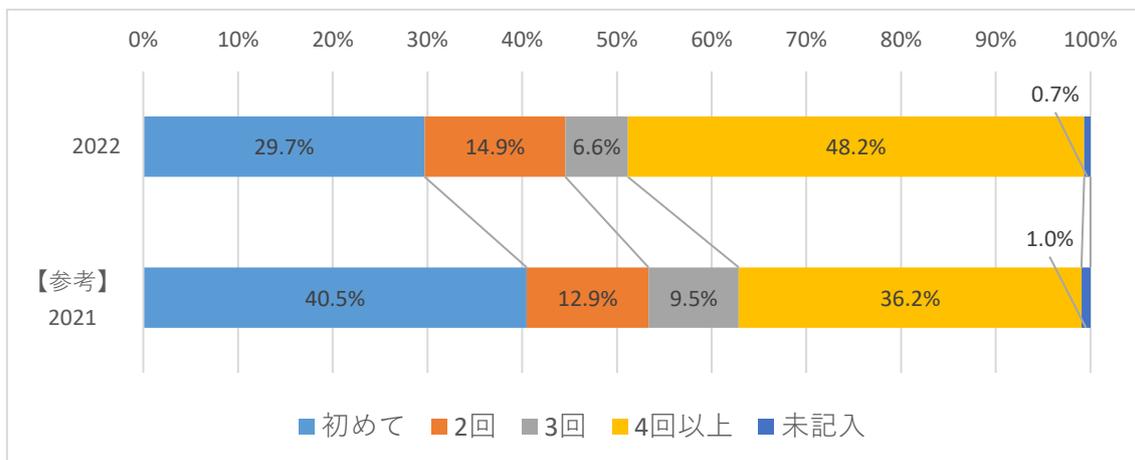
※一番割合が高い数値 赤色

年齢別に比較すると前年同様に60歳代以上が最も多かった。19～29歳が3.3%、30～39歳が前年より1.3%増加し、一方で40歳以上が7%減少した。

問1. 今回の中津（耶馬溪を含む）旅行は何回目になりますか。（1つに✓印）

初めて  2回  3回  4回以上

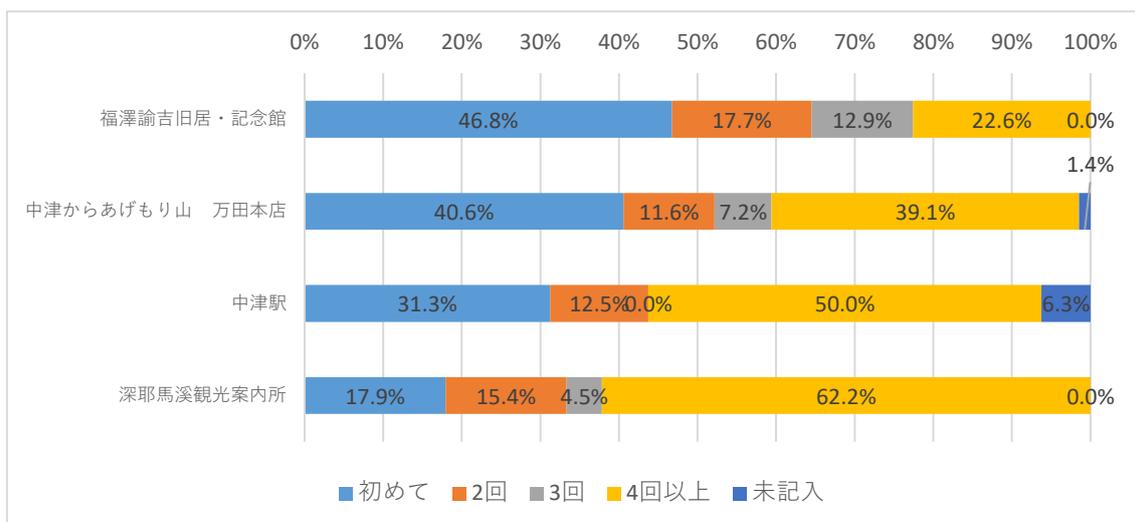
●旅行回数 回答率：99.3%



●旅行回数（順位・都道府県）

	初めて	人数	4回以上	人数
1	福岡県	40	福岡県	85
2	大分県	10	大分県	41
3	東京都	5	山口県	8
3	広島県	5		

●旅行回数（調査場所別）回答数：98.7%



2021年は、前年に比べ4回以上が48.2%と最も多く、前年より10%以上増加した。次に、初めて29.7%、2回14.9%、3回6.6%の順となった。4回以上の割合が増えた一方で、初めての割合減の結果となった。

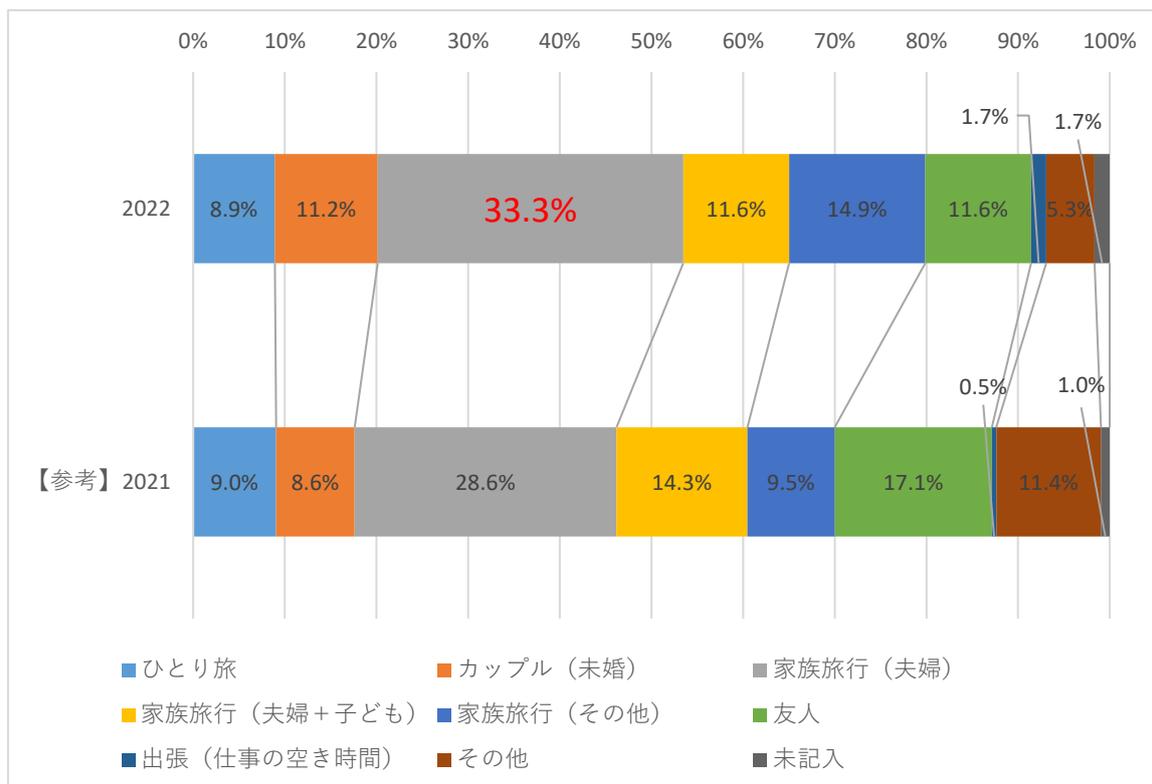
初めて来た方と4回以上の方の都道府県別の順位を見ると、どちらも前年同様に福岡県が最も多く、続いて大分県となった。その他、初めては東京都、広島県。4回以上は、山口県が上位となった。

また、調査したスポット別に、訪問回数を見ると、深耶馬溪観光案内所は4回以上リピーターが6割を超えるのに対し、からあげ店、福澤論吉旧居・記念館では初めての方が4割を超え、最も多くなっていた。

問2. 今回の旅はどれに該当しますか。(1つに✓印)

- ひとり旅   カップル（未婚）   家族旅行（夫婦）   家族旅行（夫婦+子ども）  
家族旅行（その他）   友人   出張（仕事の空き時間）   その他

●旅形態 回答率：98.3%



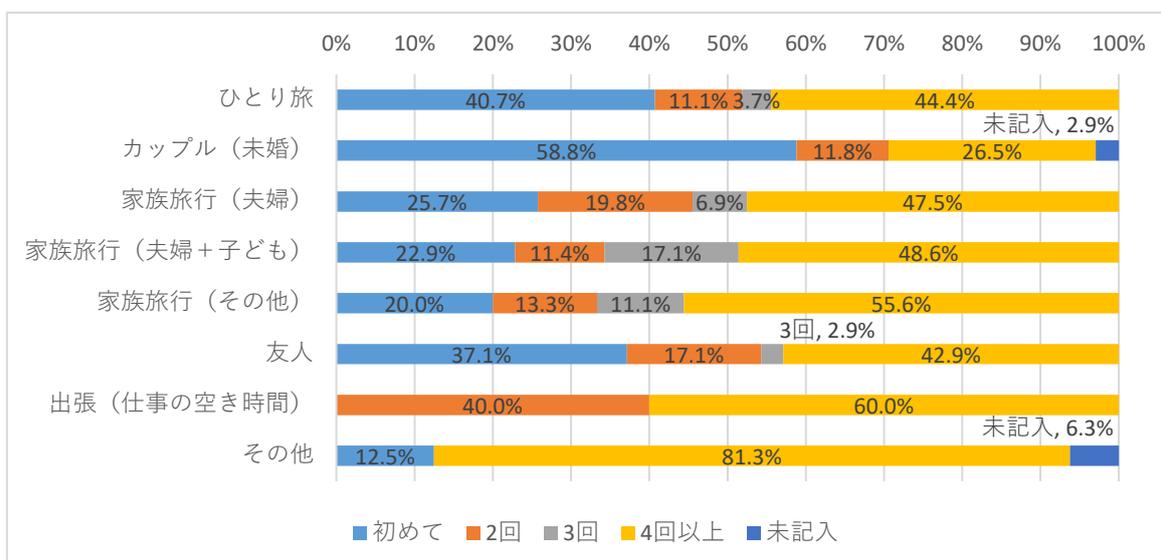
※一番割合が高い数値 赤色 ※その他の例…帰省、参拝のため

●年齢（構成別）

	～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～	未記入
ひとり旅	0.0%	1.0%	1.0%	2.0%	2.3%	2.0%	0.7%
カップル（未婚）	0.0%	6.3%	3.0%	0.7%	0.3%	0.3%	0.7%
家族旅行（夫婦）	0.0%	2.0%	1.7%	3.6%	9.6%	14.9%	1.7%
家族旅行（夫婦+子ども）	0.3%	0.7%	1.0%	4.6%	1.7%	2.3%	1.0%
家族旅行（その他）	0.0%	1.7%	2.6%	3.3%	2.6%	4.3%	0.3%
友人	0.3%	3.0%	0.7%	2.0%	1.7%	3.0%	1.0%
出張（仕事の空き時間）	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.3%	0.3%	0.3%
その他	0.0%	0.3%	0.3%	1.0%	0.3%	2.3%	1.0%
未記入	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	1.0%	0.0%

※一番割合が高い数値 赤色

●旅形態（旅行回数別） 回答率：97.7%



前年と比べ、家族旅行の割合が11.1%増加し、約6割となった。個別に見てみると、カップル（未婚）、家族旅行（夫婦）の割合が増加し、一方で家族旅行（夫婦+子ども）、友人の割合が減少した。新型コロナウイルスの影響もあり、少人数での旅行の傾向が強くなっていることが考えられる。来訪人数も平均2.25人となった。

年齢別に見ると、50歳代以上の家族旅行（夫婦）が多く、一方で20歳代、30歳代の家族旅行（夫婦）・家族旅行（夫婦+子ども）の割合が低かった。友人については年齢に関わらず、低い結果となった。

また、旅形態を旅行回数別に見てみると、ひとり旅、カップル（未婚）、友人は、中津に訪れるのが初めての割合が多く、家族旅行は4回以上のリピーターの割合が多くなっている。若い年齢層の多い旅形態であると、初めて中津を訪れる割合が多くなっている。

問3. 今回の旅はいつ計画しましたか。(1つに✓印)

- 1週間以内  
  1週間～2週間前  
  3週間～1ヶ月前  
  1ヶ月～3ヶ月前  
 3ヶ月以上前

●旅の準備期間（全体・各項目上位都道府県） 回答数：100%

	人数	割合	昨年割合 (参考)	1位	2位	3位
1週間以内	186	61.4%	43.8%	福岡県 (107)	大分県 (45)	佐賀県 (5)
1週間～2週間前	51	16.8%	13.8%	福岡県 (26)	大分県 (14)	佐賀県、長崎県、 宮崎県 (2)
3週間～1ヶ月前	33	10.9%	16.2%	福岡県 (17)	東京都、愛知県、大阪府、広島県、長崎 県 (2)	
1ヶ月～3カ月前	23	7.6%	22.4%	福岡県 (8)	広島県、大分県 (4)	
3カ月以上前	10	3.3%	1.4%	福岡県 (3)	千葉県、大阪府、山口県 (2)	
未回答	0	0.0%	2.4%			
合計	303					

※一番割合が高い数値 赤色

前年と比べ、1週間以内に旅の計画を行う割合が17.6%増えた。また、出発地も福岡県・大分県が大部分を占め、マイクロツーリズムの傾向がさらに強まっている。新型コロナウイルスの影響もあり、感染状況を見ながら、短期的に行先を決めて近隣への旅行を行う場合が多い。出発地が遠方の場合、時間をかけて旅の計画をする層も一定数いる。

問4. 今回の旅の情報源を教えてください。(複数回答可)

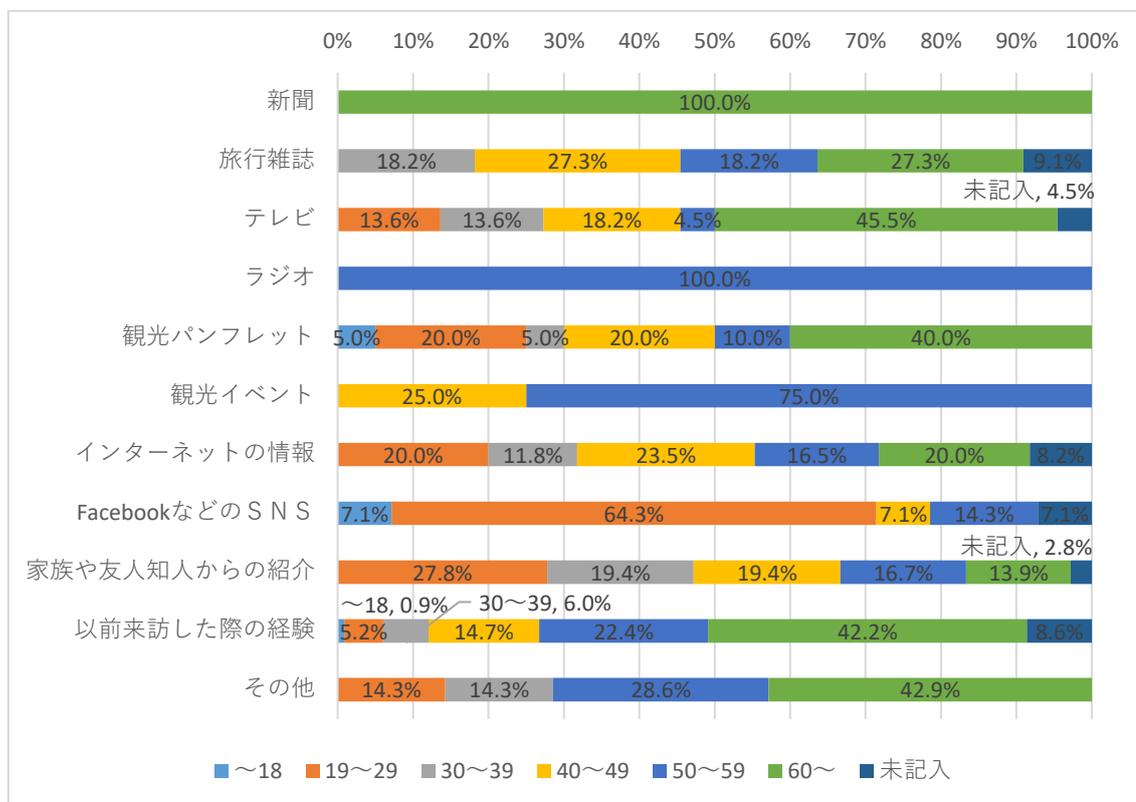
新聞                       旅行雑誌  
 テレビ                       ラジオ  
 観光パンフレット       観光イベント  
 (媒体名・イベント名：                      )  
 インターネット情報 (媒体名：                      )  
 Facebook などの SNS (媒体：                      )  
 家族や友人知人からの紹介  
 以前来訪した際の経験

●旅の情報源 (具体例) 回答率：94.7%

	人数	割合	昨年割合 (参考)	具体例
新聞	2	0.6%	2.8%	—
旅行雑誌	11	3.5%	8.8%	—
テレビ	22	6.9%	5.1%	ゴリパラ見聞録
ラジオ	1	0.3%	0.5%	—
観光パンフレット	20	6.3%	9.3%	るるぶ
観光イベント	4	1.3%	3.7%	—
インターネットの情報	85	26.7%	18.5%	Google、Instagram、食べログ、じゃらん、Yahoo
FacebookなどのSNS	14	4.4%	4.2%	Google、Instagram、Twitter
家族や友人知人からの紹介	36	11.3%	17.6%	—
以前来訪した際の経験	116	36.5%	29.6%	—
その他	7	2.2%	0.0%	思いつき、ざつ旅(漫画)、特になしなど
合計	318			

※一番割合が高い数値 赤色

●旅の情報源（年齢別）



2021年は、前年同様に経験、インターネットの情報、家族・知人が上位を占めたが、テレビの割合が1.8%増え、4位となった。

また、新聞や旅行雑誌等の紙媒体は年々減少傾向にあり、一方でインターネットの情報やSNSは増加となった。また、旅の情報源を年齢別に見ると、SNSは若い世代が中心であるが、インターネットの情報については、60歳以上も一定数利用があり、年代による利用の差が見られなかった。

問5. 今回の旅の決定要因を教えてください。(複数回答可)

- グルメ (具体例: )       自然等 (具体例: )  
 歴史・文化 (具体例: )       イベント (具体例: )  
 宿泊施設 (具体例: )       その他 (具体例: )

●旅の決定要因 (具体例 (一部)) 回答率: 98.3%

	人数	割合	昨年割合 (参考)	具体例 (一部)
グルメ	106	27.2%	13.0%	からあげ (38)、そば (9)、はも (1)
自然等	145	37.3%	38.4%	紅葉 (42)、耶馬溪 (9)
歴史・文化	53	13.6%	27.5%	中津城 (11)、福澤諭吉 (10)
イベント	3	0.8%	2.2%	ツーリング (2)、コスモス (1)
宿泊施設	24	6.2%	6.5%	市内宿泊施設 (5)、市外宿泊施設 (5)
その他	58	14.9%	6.5%	温泉 (16)、ツーリング (9)、帰省 (5)
宿泊施設			2.2%	
お土産等			3.6%	
合計	389			

※一番割合が高い数値 赤色

2021年は、自然等37.3%、グルメ27.2%、その他14.9%、歴史・文化13.6%となった。前年は、自然等32.1%、歴史・文化25.7%、グルメ17.4%であり、順位の変動が見られた。

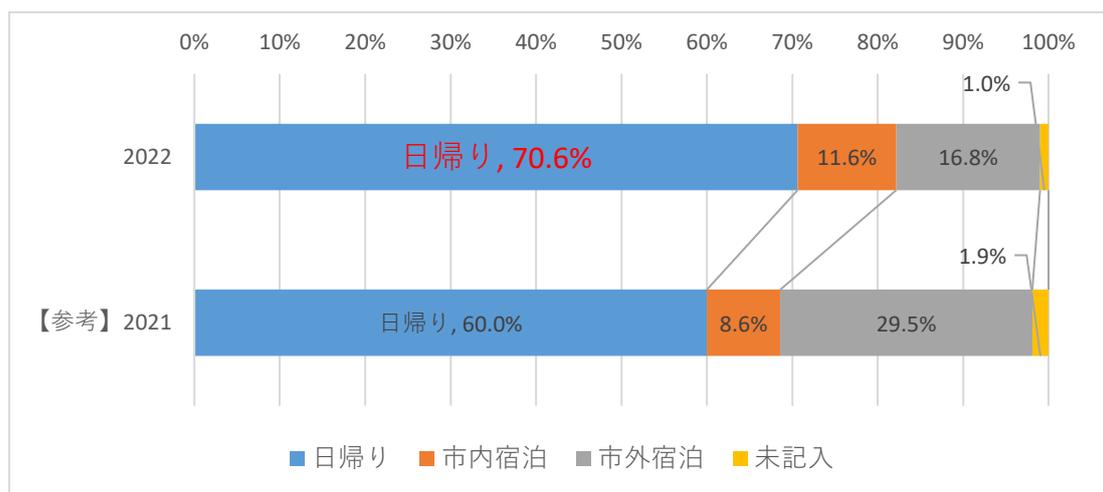
その他の割合が前年より5.1%増加した要因としては、今回、質問項目を2つ削減して調査を実施したことで項目に当てはまらないもの増えたことが考えられる。また前年に比べ、グルメ10%増え、一方で歴史・文化が10%減少しているが、2021年調査では、調査場所を黒田官兵衛資料館から中津駅・からあげ店に変更したことも要因の一つであると考えられる。また今回、からあげ店で調査したため、グルメの具体例もからあげの回答が多くなった。

自然等は昨年に引き続き3割を超えた。アンケート調査の時期が紅葉の最盛期であったことも要因として考えられるが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて屋内観光施設が前年に引き続き多い傾向となっている。宿泊施設を旅の決定要因とした割合は前年から相変わらず低く、改善していく必要がある。

問6. 今回の旅はどれに該当しますか。(1つに✓印)

日帰り (滞在時間: 時間)  
 市内宿泊 (ホテル名 ) (泊 )  
 市外宿泊 (都道府県: 市町村: )

●日帰り・宿泊 回答率：99.0%



※一番割合が高い数値 赤色

●日帰り・滞在時間 回答率：46.3%

	人数	割合	昨年割合 (参考)
2時間未満	15	7.0%	6.30%
2時間～4時間未満	40	18.7%	15.90%
4時間～6時間未満	23	10.7%	9.50%
6時間以上	21	9.8%	10.30%
未記入	115	53.7%	57.90%
合計	214		

※未記入を除き一番割合が高い数値 赤色

●市内宿泊・泊数 回答率：57.1%

	人数	割合	昨年割合 (参考)
1泊	13	37.1%	27.8%
2泊	7	20.0%	33.3%
3泊	0	0.0%	0.0%
4泊以上	0	0.0%	0.0%
未記入	15	42.9%	38.9%
合計	35		

※一番割合が高い数値 赤色

※ スーパーホテル、こがね山荘、  
 グランプラザ、東横イン、  
 オーベルジュ楓乃木、つきのほたる  
 自動車ポッポ別邸、八面山荘、えぼしや他

●市外宿泊・宿泊地 回答率：90.2%（複数回答有）

順位	宿泊地		人数	割合
1	大分県	別府市	22	40.7%
2	大分県	由布市	5	9.3%
3	福岡県	北九州市	3	5.6%
4	大分県	日田市	2	3.7%
4	大分県	大分市	2	3.7%
4	大分県	竹田市	2	3.7%
4	大分県	玖珠町	2	3.7%
4	熊本県	未記入	2	3.7%
5	大分県	国東市	1	1.9%
5	大分県	日出町	1	1.9%
5	大分県	宇佐市	1	1.9%
5	大分県	豊後高田市	1	1.9%
5	福岡県	大牟田市	1	1.9%
5	福岡県	福岡市	1	1.9%
5	福岡県	未記入	1	1.9%
5	大分県	未記入	1	1.9%
5	宮崎県	未記入	1	1.9%
	未記入		5	9.3%
合計			54	

【参考】2020年上位

順位	宿泊地		人数	割合
1	大分県	別府市	14	22.6%
2	大分県	由布市	6	9.7%
3	大分県	九重町	5	8.1%
4	大分県	大分市	4	6.5%
5	熊本県		3	4.8%
5	福岡県	北九州市	3	4.8%

前年と比べ、日帰り旅行がさらに約10%増え、7割を超えた。市内宿泊者の割合が3%増え、11.6%、市外宿泊は12.7%減少し、16.8%となった。

日帰り旅行者は2時間～4時間未満が最も多い18.7%となり、中津市内を概ね半日程度滞在する方が多い。前年の割合と比較すると、滞在時間が若干延長したことが予想される。

市内宿泊旅行者は、前年より3%増え、1泊する方が大部分を占める。市外宿泊者の宿泊地は、前年同様別府市が最も多いが、割合が前年より約18%増え、4割を超えた。別府市に宿泊する方が、合わせて中津市に観光する割合が多くなっている。

問7. 今回の旅全体の予算額を教えてください。(おひとり様あたり) (回答率: 80.2%)

	昼食	お土産等	夕食	宿泊費	交通費	体験料	その他(入館料)など	合計
2021全体	1,834	1,180	1,238	5,644	4,106	139	260	<b>14,399</b>
2021宿泊(市内)	1,167	1,919	2,593	12,659	11,167	519	433	<b>30,457</b>
2021宿泊(市外)	4,280	3,275	5,013	30,775	13,875	400	545	<b>58,163</b>
2021日帰り	1,472	711	379	0	1,423	21	187	<b>4,193</b>
2020全体	2,018	1,705	1,766	5,242	3,766	409	712	<b>15,618</b>
2020宿泊(市内)	2,948	1,714	3,834	8,614	9,382	1,514	1,581	<b>29,587</b>
2020宿泊(市外)	3,661	3,784	5,545	18,166	9,888	920	2,059	<b>44,023</b>
2020日帰り	1,298	597	108	0	808	89	107	<b>3,007</b>

2021年は、全体(宿泊+日帰り)で14,399円となり、前年と比べ約1,200円程度減少した。全体を見ると宿泊者数が減少したことに比例して、全体の予算額も減少する結果となった。宿泊・日帰りに分けてに見てみると日帰りの予算額は、前年と比べ約1,200円の増加となった。宿泊に関しても、市内・市外共に増加している。

問8. 今回の旅の交通手段を教えてください。(複数回答可)

- 自家用車    レンタカー    タクシー    電車(在来線)    新幹線    路線バス  
観光バス    飛行機    自転車    徒歩    その他( )

●交通手段 回答率: 100% ※複数回答有

	自家用車	レンタカー	タクシー	電車(在来線)	新幹線	路線バス	観光バス	飛行機	自転車	徒歩	その他	未記入	合計
人数	237	21	6	22	17	1	2	9	2	2	22	0	341
割合	<b>69.5%</b>	6.2%	1.8%	6.5%	5.0%	0.3%	0.6%	2.6%	0.6%	0.6%	6.5%	0.0%	
昨年割合(参考)	56.5%	8.7%	0.4%	4.8%	3.0%	1.3%	13.5%	2.6%	0.4%	2.6%	5.7%	0.4%	

※一番割合が高い数値 赤色

前年と比べ、自家用車の割合は13%増え、約7割となった。一方で、観光バスの割合が大幅に減少し、0.6%となった。新型コロナウイルスの影響により、大型バスでの団体旅行から、個人・家族単位のドライブ観光の需要が高まっていることが分かる。

問9. 今回の旅では、中津の観光地でどこを訪れます(した)か。(複数回答可)

- |                                   |  |                                  |
|-----------------------------------|--|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 中津城      | <input type="checkbox"/> 中津市歴史博物館        | <input type="checkbox"/> 日之出町商店街 |
| <input type="checkbox"/> 寺町       | <input type="checkbox"/> 福澤旧居・記念館        | <input type="checkbox"/> 薦神社     |
| <input type="checkbox"/> 八面山      | <input type="checkbox"/> 道の駅なかつ          | <input type="checkbox"/> 青の洞門    |
| <input type="checkbox"/> 耶馬トピア    | <input type="checkbox"/> メイプル耶馬サイクリングロード | <input type="checkbox"/> 耶馬溪の石橋  |
| <input type="checkbox"/> 御霊もみじ    | <input type="checkbox"/> 耶馬溪ダム・アクアパーク    | <input type="checkbox"/> 溪石園     |
| <input type="checkbox"/> 一目八景     | <input type="checkbox"/> 猿飛千壺峡           | <input type="checkbox"/> からあげ店   |
| <input type="checkbox"/> 鱧(はも)料理店 | <input type="checkbox"/> その他             |                                  |

	人数	割合	昨年割合 (参考)
中津城	68	22.4%	42.4%
中津市歴史博物館	19	6.3%	9.5%
日之出町商店街	1	0.3%	0.5%
寺町	1	0.3%	2.4%
福澤旧居・記念館	71	23.4%	27.6%
薦神社	1	0.3%	3.3%
八面山	6	2.0%	4.8%
道の駅なかつ	44	14.5%	14.8%
青の洞門	93	30.7%	34.8%
耶馬トピア	32	10.6%	4.8%
メイプル耶馬サイクリングロード	5	1.7%	1.4%
耶馬溪の石橋	29	9.6%	15.2%
御霊もみじ	11	3.6%	4.8%
耶馬溪ダム・アクアパーク	20	6.6%	9.0%
溪石園	25	8.3%	5.7%
一目八景(深耶馬溪)	167	55.1%	33.3%
猿飛千壺峡	12	4.0%	2.4%
からあげ店	94	31.0%	12.4%
はも料理店	4	1.3%	6.7%
その他	20	6.6%	4.3%
未記入	1	0.3%	4.3%
平均訪問数		2.39	2.37

2021年は一目八景(深耶馬溪)が55.1%と非常に高い結果となった。深耶馬溪は、アンケート調査場所であり、本アンケート総数の半分を占めているため、今回の結果の大きな要因となっている。その他、からあげ店も31.0%と深耶馬溪と同様の傾向が見られた。

耶馬トピア、メイプル耶馬サイクリングロード、溪石園、猿飛千壺峡は前年より増加し、その他のスポットは減少した。平均訪問は、前年とほぼ同数であった。

問10. 今回の旅で一番心に残ったグルメを教えてください。(自由記述)

料理名 ( ) 店名 ( )

●グルメ 回答率：57.8%

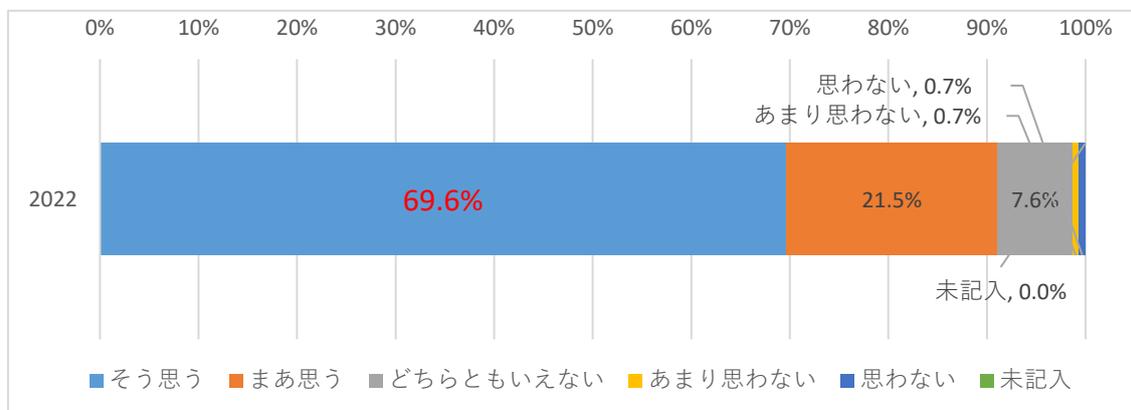
全体	心に残ったグルメ	人数	回答率	昨年割合 (参考)	店名
1	無回答	175	57.8%	61.6%	
2	からあげ	63	20.8%	5.9%	もり山、イロトリドリ、ぶんごや、鳥しん、道の駅なかつ 他
3	そば・そば料理	21	6.9%	2.3%	八景店、深瀬屋、ろくめいかん 他
4	鰻料理	3	1.0%	3.2%	鬼太郎
※その他…とり天、とろろめし、だんご汁、とんかつ、海鮮丼、ラーメン 他					

調査時間の変更により無回答の割合が若干下がったが、約5割を超えた。2021年より調査場所からからあげ店を入れたため、からあげの回答が2割を超えた。また、次いでそば関連の回答が6.9%、鰻料理が1.0%となった。調査の場所が、回答率の割合の要因となっている。

問11. (新設) 再び、中津に旅行に来たいと思いますか？

そう思う  まあ思う  どちらともいえない  あまり思わない  思わない

●中津への再来訪 回答率：100%



※一番割合が高い数値 赤色

2021年より新設した質問項目であり、旅の満足度を図る目的で、再来訪の意向を確認した。中津へ再び来たいと思う割合は、そう思う69.6%、まあ思う21.5%となり合計9割を超えた。

問12. 中津市内の観光で困ったことはありますか。(自由記述)

集計結果は下記の通り

順位	回答	人数	具体例(一例)
1	特になし	18	
2	アクセス・交通について	12	道が分かりにくい、紅葉時の渋滞、路線バスが少ない
3	道路について	6	道が狭い
4	観光情報の発信について	5	お土産の一覧が欲しい、紅葉の見頃の発信
4	その他	5	GOTOトラベルのような制度が欲しい、雨よけが欲しい
4	駐車場	5	駐車場が狭い、バイクの駐車場が狭い
7	お食事処について	4	中津駅で食事する場所がなく困った、食事処が少ない
8	中津市以外	1	

## ◆ 大分県内観光客の分析

新型コロナウイルスの影響により、2021年は大分県内向けの観光PRを行う場面が多かったことから、今回、大分県の方のみに絞り、アンケートを再度集計した。

- ・家族旅行（夫婦）とファミリー層の来訪が多い。
- ・旅行回数が4回以上の方が6割を超えた。
- ・日帰りの方が9割を占め、グルメを旅の決定要因に中津に訪れている。
- ・一目八景・中津城・青の洞門などの代表的な観光地の割合は、全体と比較すると減少傾向にあり、中津市歴史博物館などの新しいスポットや日頃あまり訪れないスポットは、全体と比較すると増加傾向にあった。

### （年齢）

年齢別でみると、全体の場合60歳以上が3割を超えるのに対し、大分県内は40代、60代以上が21.9%と高く、50歳未満の割合も多い結果となった。

### （訪問回数）

大分県内であるため、4回以上の方が6割を超えた。しかし、初めてと回答した方も15.6%となった。

### （旅形態）

全体と同様に家族旅行（夫婦）23.4%で最も高い割合となった。また、家族旅行（夫婦＋子ども）の割合が、全体より5.6%多い結果となり、ファミリー層の来訪が多いことが分かる。

### （日帰り・宿泊）

全体より18.5%増え、約9割の方が日帰り旅行であった。

### （旅の決定要因）

全体が、自然等37.3%、グルメ27.2%、その他14.9%、歴史・文化13.6%であったのに対し、大分県内はグルメ34.2%となり最も多かった。

### （目的地）

観光地の平均訪問数は、2.42箇所と全体とほぼ同じ結果となった。全体と比較して代表的な観光スポットは若干割合が低く、一方で中津市歴史博物館やメイプル耶馬サイクリングロード、薦神社、八面山などのスポットで若干割合が高くなった。また、旅の決定要因はグルメが最も多かったのに比例して、からあげ店、はも料理店の割合も全体より高い結果となった。

【今後の取組】

- ・大分県内向けに PR を行う場合は、家族で訪れることができる、比較的あまり知られていない観光地とグルメを合わせて広告することで更なる誘客に繋がる可能性が高い。
- ・宿泊者の割合が非常に低いことから、宿泊につながるような工夫も必要である。

●年齢別：回答率 93.8%

年齢	人数	割合	全体
～18	0	0.0%	0.7%
19～29	12	18.8%	15.2%
30～39	8	12.5%	10.2%
40～49	14	21.9%	18.2%
50～59	12	18.8%	18.8%
60～	14	21.9%	30.4%
未記入	4	6.3%	6.6%
合計	64		

●旅行回数 回答率：98.4%

	人数	割合	全体
初めて	10	15.6%	29.7%
2回	9	14.1%	14.9%
3回	3	4.7%	6.6%
4回以上	41	64.1%	48.2%
未記入	1	1.6%	0.7%
合計	64		

●旅形態 回答率：96.9%

	人数	割合	全体
ひとり旅	5	7.8%	8.9%
カップル（未婚）	6	9.4%	11.2%
家族旅行（夫婦）	15	23.4%	33.3%
家族旅行（夫婦＋子ども）	11	17.2%	11.6%
家族旅行（その他）	10	15.6%	14.9%
友人	8	12.5%	11.6%
出張（仕事の空き時間）	1	1.6%	1.7%
その他	6	9.4%	5.3%
未記入	2	3.1%	1.7%
合計	64		

●日帰り・宿泊 回答率：99.0%

	人数	割合	全体
日帰り	57	89.1%	70.6%
市内宿泊	7	10.9%	11.6%
市外宿泊	0	0.0%	16.8%
未記入	0	0.0%	1.0%
合計	64		

●旅の決定要因 回答率：96.9%

	人数	割合	全体
グルメ	27	34.2%	26.9%
自然等	22	27.8%	36.8%
歴史・文化	12	15.2%	13.5%
イベント	1	1.3%	0.8%
宿泊施設	4	5.1%	6.1%
その他	11	13.9%	14.7%
未記入	2	2.5%	1.3%
合計	79		

●目的地 回答率：98.4%

	人数	割合	全体
中津城	14	21.9%	22.4%
中津市歴史博物館	6	9.4%	6.3%
日之出町商店街	0	0.0%	0.3%
寺町	0	0.0%	0.3%
福澤旧居・記念館	15	23.4%	23.4%
薦神社	1	1.6%	0.3%
八面山	2	3.1%	2.0%
道の駅なかつ	14	21.9%	14.5%
青の洞門	18	28.1%	30.7%
耶馬トピア	3	4.7%	10.6%
メイプル耶馬サイクリングロード	2	3.1%	1.7%
耶馬溪の石橋	3	4.7%	9.6%
御霊もみじ	2	3.1%	3.6%
耶馬溪ダム・アクアパーク	5	7.8%	6.6%
溪石園	6	9.4%	8.3%
一目八景（深耶馬溪）	31	48.4%	55.1%
猿飛千壺峡	2	3.1%	4.0%
からあげ店	24	37.5%	31.0%
はも料理店	1	1.6%	1.3%
その他	6	9.4%	6.6%
未記入	1	1.6%	0.3%
平均訪問数		2.42	2.39

※一番割合が高い数値 赤色